

盆栽の楽しみ方(見方と見どころ)

盆栽は雄大な自然の風景を「生きた彫刻」に詰め込むためにできました。以下の簡単なポイントと共にこのことを心得ておくと、見る人に自分が木々に込めた美の心を感じてもらいやすくなります。ではポイントの解説をしていきましょう。

一つ目に盆栽の「表」を意識すること。ほとんどの盆栽は明確に表と裏が分かれています。盆栽家は栽培する盆栽の特徴となる部分を決めた後に、鉢に移します。そうすることでその部分を表に向かせることができ、その面を見られるということを意識しながら育てていけるようになります。手を振っているように枝が広がっている部分や、謙虚そうにお辞儀しているように見える部分を見つけることが、盆栽の「表」を探すための手がかりになります。

二つ目に、盆栽家は作品を見るときに盆栽の根、もしくは幹の根元に視点を置きますので、そのことを意識しながら盆栽を見てみましょう。理由はこの視点から観察することによって、小さく保たれた木がどっしり高くそびえ立つように見えるからです。さらにこの視座から見ると、盆栽全体だけでなく、根の広がりやそこから生え上がる幹、優雅に広がる枝、葉の色味などの個々の部分を楽しむことができます。また、神と舍利と呼ばれる枯れた枝や幹に宿る厳粛さも見るポイントです。